



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年4月28日

上場会社名 カンロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2216 URL <https://www.kanro.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 阿部 一博 (TEL) 03 (3370) 8811
 C F O 財務・経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	7,515	25.4	1,189	69.7	1,192	61.2	842	68.7
2022年12月期第1四半期	5,992	31.0	700	609.7	739	634.3	499	338.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	60.77	—
2022年12月期第1四半期	35.40	—

(注) 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	23,057	13,122	56.9
2022年12月期	22,315	12,555	56.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 13,122百万円 2022年12月期 12,555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	25.00	—	19.00	—
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 5円00銭 (創業110周年記念配当)

※2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。2022年12月期第2四半期末の1株当たり中間配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式分割後の基準で換算した2022年12月期の1株当たり年間配当金は、31円50銭となります。

3. 2023年12月期の業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,400	19.4	1,600	55.6	1,610	49.7	1,100	50.6	79.31
通期	27,700	10.3	2,450	26.7	2,470	23.4	1,680	24.8	121.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 1 Q	15,315,604株	2022年12月期	15,315,604株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	1,446,176株	2022年12月期	1,446,176株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 1 Q	13,869,428株	2022年12月期 1 Q	14,109,789株

※1. 2022年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施したため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託口)の保有する当社株式(2023年12月期第1四半期523,800株、2022年12月期523,800株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] 2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(収益認識関係)	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（以下、「当第1四半期」）におけるわが国経済は、ウィズコロナへの移行が進み、人流の拡大やインバウンド需要の回復もあり、景気は緩やかに持ち直しています。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響による景気下振れリスクに加え、物価の上昇や供給不安、金融資本市場の変動等のリスクなど先行きは依然不透明な状態が継続しています。

キャンディ市場におきましては、飴カテゴリーは、人流回復による食シーンの拡大下、昨年からのオミクロン株感染拡大の影響や花粉飛散量増加により、のど飴を中心に前年同期比で増加しております。グミカテゴリーは好調が継続しており、前年同期比で大きく増加し、キャンディ市場全体の伸長を牽引しております。

このような事業環境において、当社は企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、3ヶ年計画の2年目となる「中期経営計画2024」の3つの事業戦略（「価値創造」・「ESG経営」・「事業領域の拡大」）を着実に推し進めた結果、当第1四半期の売上高は、前年同期比15億22百万円（25.4%）増収の75億15百万円となりました。

飴は、のど飴及びZ世代向け商品を含むファンシーカテゴリーを中心に袋形態が増加すると共に、ウィズコロナ下においてスティックやコンパクトサイズ形態の需要も回復し、前年同期比6億98百万円（21.5%）増収の39億50百万円となりました。製品別では、ノンシュガーのど飴シリーズの「ノンシュガー果実のど飴」、「ノンシュガースーパーメントールのど飴」に加え、テレビコマーシャルを実施した「健康のど飴」シリーズが好調に推移しました。グミは、発売20周年の昨年に大きく伸長した主力ブランドである「ピュレグミ」が牽引し、堅調な「カンデミーナグミ」の成長とも相俟って前年同期比8億30百万円（32.1%）増収の34億17百万円となりました。素材菓子は、前年同期比8百万円（5.3%）減収の1億45百万円となりました。一方で、安定供給の観点から、一部製品については休売等の対応を実施しており、生産体制の整備への取組みを進めてまいります。

利益面では、昨年9月から段階的に実施した価格改定に続き、3月より一部商品の価格改定及び内容量の変更を実施いたしました。継続する原材料価格の上昇により変動費率は上昇したものの、販売数量増加と生産性向上による限界利益の増加により、売上総利益は前年同期比7億66百万円（31.1%）増益の32億33百万円となりました。営業利益はテレビコマーシャル実施による広告宣伝費の増加、人員増加等による人件費の増加に加えて、事業領域拡大への施策経費を含む一般費の増加により前年同期比4億88百万円（69.7%）増益の11億89百万円となりました。経常利益は、前年の損害金収入の反動もあり前年同期比4億52百万円（61.2%）増益の11億92百万円となり、四半期純利益は、前年同期比3億43百万円（68.7%）増益の8億42百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ7億41百万円（3.3%）増加し230億57百万円となりました。

これは主に現金及び預金が4億81百万円、売掛金が3億93百万円増加しましたが、繰延税金資産が2億20百万円減少したことによるものです。

負債の部は、前事業年度末に比べ1億74百万円（1.8%）増加し99億34百万円となりました。

これは主に短期借入金が5億円、買掛金が2億88百万円増加しましたが、賞与引当金が4億81百万円、未払法人税等が1億69百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、前事業年度末に比べ5億67百万円（4.5%）増加し131億22百万円となりました。

これは主に四半期純利益8億42百万円の計上と、配当金2億73百万円の支払いによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、2023年4月28日付「第2四半期（累計）及び通期業績予想並びに中間配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,310,808	2,792,554
売掛金	7,673,640	8,067,633
商品及び製品	774,996	752,769
仕掛品	14,204	123,233
原材料及び貯蔵品	380,597	395,148
その他	197,263	150,648
流動資産合計	11,351,510	12,281,987
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,035,754	7,044,027
減価償却累計額	△4,029,677	△4,096,293
建物（純額）	3,006,076	2,947,734
機械及び装置	13,282,569	13,348,562
減価償却累計額	△9,661,698	△9,583,485
機械及び装置（純額）	3,620,870	3,765,076
土地	1,497,829	1,497,829
その他	2,785,015	2,798,007
減価償却累計額	△2,111,174	△2,135,912
その他（純額）	673,841	662,095
建設仮勘定	270,261	219,750
有形固定資産合計	9,068,880	9,092,485
無形固定資産	228,469	235,673
投資その他の資産		
投資有価証券	174,451	172,731
繰延税金資産	1,060,218	839,872
その他	431,691	434,407
投資その他の資産合計	1,666,361	1,447,010
固定資産合計	10,963,711	10,775,169
資産合計	22,315,222	23,057,157

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,176,026	2,464,104
短期借入金	—	500,000
未払金	1,082,176	1,111,265
未払費用	2,225,694	2,160,501
未払法人税等	319,477	150,405
賞与引当金	904,368	423,310
役員賞与引当金	121,750	34,313
その他	378,030	550,802
流動負債合計	7,207,523	7,394,702
固定負債		
退職給付引当金	2,270,581	2,234,606
役員株式給付引当金	195,347	209,171
その他	86,744	96,401
固定負債合計	2,552,674	2,540,180
負債合計	9,760,198	9,934,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,864,249	2,864,249
資本剰余金	2,577,892	2,577,892
利益剰余金	7,944,113	8,513,523
自己株式	△883,467	△883,467
株主資本合計	12,502,789	13,072,199
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,085	50,747
繰延ヘッジ損益	148	△672
評価・換算差額等合計	52,234	50,074
純資産合計	12,555,023	13,122,274
負債純資産合計	22,315,222	23,057,157

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	5,992,883	7,515,030
売上原価	3,526,222	4,281,964
売上総利益	2,466,661	3,233,065
販売費及び一般管理費	1,765,750	2,043,557
営業利益	700,910	1,189,508
営業外収益		
受取利息	28	19
損害金収入	32,161	—
売電収入	1,558	1,832
その他	6,724	3,321
営業外収益合計	40,472	5,174
営業外費用		
支払利息	335	10
売電費用	1,354	1,452
その他	58	625
営業外費用合計	1,748	2,088
経常利益	739,634	1,192,594
特別損失		
固定資産除却損	135	2,531
減損損失	11,311	1,545
特別損失合計	11,447	4,076
税引前四半期純利益	728,186	1,188,517
法人税、住民税及び事業税	6,328	124,337
法人税等調整額	222,352	221,298
法人税等合計	228,680	345,636
四半期純利益	499,506	842,881

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は、菓子食品事業の単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
飴	3,251,671	3,950,148
グミ	2,587,275	3,417,896
素材菓子	153,936	145,746
その他	—	1,240
顧客との契約から生じる収益	5,992,883	7,515,030
外部顧客への売上高	5,992,883	7,515,030

(注) 「その他」は、食品以外の雑貨類であります。